資料1-2
令和7年度第２回
逗子市地域公共交通活性化協議会
2025 年(令和7年)10 月 30 日

逗子市地域公共交通ワークショップ

【実施結果】

令和7年9月

1. 実施概要

1）実施日時

9/7(日)15:00～17:00

2）実施場所

逗子市役所第2会議室

3）参加者　計 22名（3 グループ）

グループ	居住エリア	人数
1 班　逗子西部	久木 8 丁目	5人
	小坪 2 丁目	2 人
2 班　逗子中部	新宿 1 丁目	1 人
	桜山 1 丁目	1 人
	桜山 2 丁目	1 人
	桜山 7 丁目	1 人
	山の根 3 丁目	1 人
	久木 2 丁目	1 人
	久木 3 丁目	1 人
3 班　逗子東部	池子 1 丁目	1 人
	池子 2 丁目	2 人
	池子 3 丁目	1 人
	沼間 1 丁目	1 人
	沼間 3 丁目	1人
	桜山 4 丁目	1 人
	桜山5丁目	1人

4）当日の流れ

タイムテーブル	プログラム	担当
15:00～15:02	開会挨拶	逗子市環境都市課 石井部長
15:02～15:15	これまでの検討経緯並びに 懇談会の趣旨説明	逗子市環境都市課 平元専任主査
15:15～15:30	地域のおでかけ環境のあり方とは	名古屋大学大学院 加藤教授
15:30～15:35	グループワークの進め方	復建調査設計(株) 吉野氏
15:35～15:40	アイスブレイク(自己紹介)	各テーブルで事務局が ファシリテーション
15:40～16:05	テーマ 1: 日常生活の移動実態・困りごと (都市計画図に付箋を貼り付け)	
16:05～16:30	テーマ 2: なぜ、困っているかを深掘り (テーマ 1 の図面に引き続き貼り付け、 可能な範囲で課題を体系化)	各テーブルで事務局が ファシリテーション
16:30～16:45	参加者からの発表 (3班×質疑含め 5 分)	各グループ代表者
16:45～16:58	総括	名古屋大学大学院 加藤教授 かながわ福祉移動サービスネットワーク 清水氏
16:58～17:00	閉会挨拶	逗子市環境都市課 三澤次長

5）当日の様子

▲　開会の挨拶

▲　検討経緯・懇談会の趣旨説明

▲　地域のおでかけ環境のあり方説明

▲　グループワークの説明

▲　グループワークの様子①

▲　グループワークの様子②

▲　総括①

▲　総括②

2. グループワーク

課題を桃色の付箋に，課題の深堀りを水色の付箋にそれぞれ記入して発表した。

1）１班　逗子西部グループ

▲ １班(逗子西部)グループワークのアウトプット

▼ 課題とその深堀り

区分	課題	課題の深堀り	地域
バス	・ 終バスが早い	・ 便数の減少 ・ 早朝・夜間のバスが少なく、早く終わる →ハイランド発逗子駅行き　6:28 →逗子駅発ハイランド行き　最終 22:30 ・ タクシーに依存しなければならない	久木8丁目
	・ 時間通りに来ない	・ 祭日・休日の混雑がひどい(ハイランド内) ・ 時間が読めないため計画的に出かけられない ・ バス接近情報をスマホで見られることを知らなかった ・ スマホを使いこなせないため、バス接近情報が見られない ・ 鎌倉からのバスは遅れが少ない	久木8丁目 小坪2丁目
	・ バス停まで遠い ・ バス停に屋根がない	－	久木8丁目 小坪2丁目

区分	課題	課題の深堀り	地域
タクシー	・タクシーが呼べない	・朝にタクシーが少ない ・事前のタクシー予約ができない ・情報に疎い層は GO アプリが使えない ・毎回料金が高い	久木8丁目 小坪2丁目
踏切	・踏切で渋滞が発生	・開かずの踏切 ・踏切の開閉時間が短い ・歩道が狭く、自転車が多い ・踏切での交通ルールがわかりにくい ・歩道橋の導線が悪く、使われていない	逗子駅東側
自転車	・逆走する自転車 ・車・自転車・歩行者のすみわけ ・家族（妻・子供）が事故にあわないか心配	・自転車利用のマナーの向上が必要 ・自転車専用レーンがない	市内全域
	・駅前の駐輪場が少ない ・駅前に広場がない	－	逗子駅周辺
渋滞	・オーケーストアの渋滞 ・駅前ロータリーの混雑 ・なぎさ通りのバス停が狭い ・銀座通りの路上駐車が多い	・車でオーケーストアに行く人が多い ・一カ所が詰まると他も詰まってしまう ・渋滞すると抜けられず、どこにも行けない ・駅が混んでいるから行こうと思わない ・子どもの送迎ができない	逗子駅周辺
目的地	・東逗子の病院までタクシーで移動している（逗子8丁目）	・各エリアから逗子駅へ行く公共交通のみで、エリア間のつなぎがない ・パラトランジットの発想がない ・循環バスを運行する（特にアリーナ、小坪、高齢者センターへのバスが欲しい） ・逗子駅前にセンターを集合させたい	久木8丁目 小坪2丁目
	・逗子アリーナへバスで行きづらい（久木8丁目・小坪2丁目） ・アクセスが出来ないため、イベントに参加できない		
	・久木8丁目から小坪コミュニティセンターに行けない ・エリアごと（久木8丁目から小坪等）の接続がしづらい		
	・バスで京急（逗子・葉山駅）や郵便局へ行くには乗り換えが必要		
地形	・オートバイが横をすり抜けて危ない ・坂道ばかりで外出が少ない ・車いすの段差が危険 ・ベビーカーでバスに乗るのが大変 ・自転車・歩行者にやさしくない ・友人に会いに行けない	・小坪にある谷亀（鮮魚店）の裏の路地が狭い ・ハイランドは坂ばかり ・歩道の凹凸が多い	市内全域

2）2 班　逗子中部グループ

▲　2 班（中部）グループワークのアウトプット

▼　課題とその深堀り

区分	課題	課題の深堀り	地域
バス	・ バス停が遠い ・ バスが通っていない（久木 2 丁目）	・ 足が悪いとバス停まで 20～30 分くらいかかる（買い物のときに荷物の持ち運びが大変、具合が悪いときは歩けない） ・ 自分や家族が病気になったときはタクシーしか選択肢がない ・ 幅員が足りず、地区内にバスが入れない	久木
	・ 谷戸は奥に向かうほど目的地まで時間がかかる（主に若い方の移住が進んでいるエリア）	・ 利用できるバスの便数が増えるとよい（循環バスなど）	山の根
	・ 近くに停留所がない	・ 新宿 1 丁目に路線バスのバス停があるといい ・ 新宿 1 丁目あたりから逗子アリーナに行きたい ・ 暑すぎて停留所まで歩くのが大変、停留所でも暑さ対策が必要	新宿
タクシー	・ タクシーが使いづらい ・ 高齢者は通院時にタクシー利用	・ タクシーの利便性向上 ・ 利用できるバスの便数が増えるとよい（循環バスなど）	山の根

区分	課題	課題の深堀り	地域
	・夏はタクシーが利用できない	・夏は海水浴客で予約が埋まる ・乗合タクシーのような形で効率化が必要	新宿
	・タクシーが使いづらい	・タクシーが少ない ・乗車できる場所が少ない ・料金が高い ・タクシーの需要と供給の数量の見える化 ・タクシーへの乗合い、GO アプリの活用、コミュニティバスの導入などが考えられる	桜山（市内全域も同様）
道路	・駅まで歩く人が多いが道路が狭く、危険	・県道の歩行空間が狭い（道路面積の改善が必要） ・狭い歩行空間に歩行者・自転車・車いすなどが輻輳している	山の根
	・車が危険な時があり、子供の登下校時に見守りが必要（逗子小校区）	・歩行空間の改善が必要	桜山
	・観光客が歩きにくい	・古墳街道・古墳海道・鎌倉街道・浦賀道と歩道について考え直す（歩きやすい道路の整備が必要）	市内全域
	・インフラが弱い	・市の全面積の半分が使えない場所（山林など） ・車中心のまちづくりになっている ・歩行空間が確保されていない（歴史的にも） ・結果的に、公共交通より個人の移動手段の方が便利になっている	市内全域
	・県道で渋滞が発生	・踏切を起点とした渋滞が発生している ・杖をついた人は踏切の横断が危ない ・踏切の高架化等、インフラそのものの大きな見直しが必要	山の根
自転車	・中学生の塾の行き帰りは自転車利用が多いが、逗子駅周辺には駐輪場が少ない	・駐輪場の時間を延長してほしい ・駐輪場の利用できる時間が曖昧（もともと時間が決まっていたが、規則が緩くなっている） ・お金に余裕がない中学生はなるべく自転車を使いたい ・塾の行き帰りについて、送迎に頼る中学生は体感的には少ない	逗子駅周辺
	・シェアサイクルをもっと利用したい	・シェアサイクルのポートが少ない（増やしてほしい）	市内全域
	・自転車の走行が危険なことがある	・自転車専用レーンがない	市内全域
生活全般	・駅まで行けば用事は済む ・夏場・冬場の買い物が大変（オーケーストアなど）	・循環バス等が必要 ・生活・介護に活用できるモビリティがない	桜山

区分	課題	課題の深堀り	地域
観光	・ 逗子は鎌倉・葉山と比べて観光が弱い	・ 海のタクシーはあるが観光タクシーがない、また、使える場所がない ・ 道路が歩きにくい	市内全域
地域交通の運営体制	・ 公共交通機関なのに企業の経営に委ねている	－	市内全域

3）3 班　逗子東部グループ

▲　3 班(逗子東部)グループワークのアウトプット

▼　課題とその深堀り

区分	課題	課題の深堀り	地域
バス・ 福祉バス	・ バスの本数が少ない ・ バスが小さくて座れない（お年寄りが立っている） ・ 福祉バスが月水金しかこない	・ 朝の時間でも 2 本しか運行していない ・ 山・坂で帰り道(上り)が大変 ・ 福祉バスは毎日運行してほしい	池子
渋滞	・ 駅ロータリー・なぎさ通り・銀座通り・桜山セブンイレブン前・東逗子セブンイレブン前の渋滞	・ 朝・夕のお迎えの車が多い ・ 逗子駅周辺の渋滞は自家用車の利用が多いため ・ 逗子駅周辺の車両動線が未整理で定時性等で担保されない	逗子駅周辺・東逗子駅周辺
病院	・ 湘南鎌倉病院へ行く方法 ・ 南共済病院など、他の市の病院に行きにくい	－	市内全域
ルート	・ バス以外の手段で白タクシーのようなものがほしい ・ せっかく JR・京急の 2 路線あるのに有効的活用が難しい ・ 公共交通機関の導線が逗子	・ JR 逗子駅前のスペースが公共交通の利用を促す形になっていない ・ バスが不便だから利用しない ・ バス路線が JR 逗子駅を中心として設定されている ・ バス・電車それぞれが独立していてリンク	市内全域

区分	課題	課題の深堀り	地域
	駅中心のみ ・ 市内を一周できるバスがない（逗子駅止まり） ・ バスの便がほとんど逗子駅を起点としており、ほかの地区に行きにくい ・ バスより車が便利なのはなぜか ・ 駅前以外のバス移動が不便	していない ・ 車の主要道路となる県道のキャパシティが不足しているが、拡張の余地はない ・ バス路線が逗子駅に集中しているので東逗子・神武寺駅の活用が必要だが、スペースがない ・ 逗子市内を乗り換えなしで一周できるバスが必要 ・ 逗子を一周すると便は増える？（距離が長くなる分、便数は減ってしまうのではないか） ・ ドライバーの不足	
地形・地理	・ 谷戸で道が狭く、バスが入ってこられない ・ 出かけるときに行きは良いが帰りがつらい ・ 沼間は坂道が多く、買い物等での上りがつらい ・ 東逗子駅裏が狭く、バスも入れず県道にも出にくい ・ 子どもの移動が不便、自転車では道が細く危ない ・ JR 逗子から先はお客様扱いをしていない ・ バス停までの距離もあり、坂道での移動が大変 ・ 坂の上に住んでいる人が多い ・ スーパーに行く足がない	・ 地形的に谷戸が多い ・ 道が狭い ・ スーパーへの直行便があるといい ・ 施設が点在している	市内全域

3．有識者からの講評

1） かながわ福祉移動サービスネットワーク　清水氏

- 住民参加型のワークショップの開催は今後の計画策定を進めていくうえで、大変意義があるものである。
- 本日、参加者の皆様から多様な課題が提起された。全ての課題に対して 100 点満点で解決することは容易ではないが、住民の努力や行政の交通政策などを適切に組み合わせて取り組んでいくことが重要に感じた。

2） 名古屋大学大学院　加藤教授

- 参加者の皆様の発言から、逗子市の交通課題として道路の狭さと需要に対するインフラ不足が根本的な問題だと感じた。特に、逗子駅周辺の交通インフラの運用が非効率であり、道路や区域ごとに交通手段の優先順位の明確化が必要である。
- また、逗子駅を中心とした公共交通のハブ機能の強化、谷戸地域等の移動手段確保、病院アクセスの確保、神武寺駅・東逗子駅の活用促進についても重要性が高い。
- 運転手不足の中で効率的な移動サービスを実現し、住民の移動ニーズに応えるためには住民の協力が不可欠であり、今後のワークショップを通じて実現可能な取組みを検討していきたい。